

令和2年6月9日

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人高村育英会

国際ペットビジネス専門学校熱海校

学校関係者評価委員会

令和2年度学校関係者評価委員

(関係企業等)

高橋 道広 氏 熱海動物愛護病院副院長（獣医師）
荒井 嘉久 氏 一般社団法人日本ペットビジネススクール協会（代表理事）
田代 貞男 氏 レストランたしろオーナーシェフ（近隣住民）

(本学職員)

池谷 悟 校長 自己点検・自己評価実施責任者
高野 和夫 学校法人高村育英会 常務理事

開催日時 令和2年6月9日（火） 13:30~15:00
会場 国際ペットビジネス専門学校熱海校 談話室
評価委員数 3名
出席評価委員 2名
高橋道広氏 田代貞男氏
欠席評価委員 荒井嘉久氏

以上2名

1 教育理念・目標

○現状と課題

- ①教育目標、育成人材については就業規則第一条に掲載し、学校説明会やホームページ等でその周知を図っている。
- ③業界の動向を常に視野に入れ、専門分野に詳しい講師から情報を収集し、カリキュラムの構成や学科編成などを検討している。

○改善のための方策

- ②ホテル研修生の早朝勤務を廃止。
- ③ここ数年大きな変化はないが、来年度カリキュラムや、学科編成など具体的な対策に着手する。

●学校関係者による評価

- ・現在の学生は、以前のような制度では継続していくのが難しいのではないかと。世の中でも、働き方改革が検討されているので、研修先ホテルと検討してみてもどうか。

2 学校運営

○現状と課題

- ①②運営方針、事業計画は年度末の運営会議・理事会・評議員会で決議されたものを翌年度の方針として定めている。
- ③学校法人の就業規則にその処遇については明記されており、よく整備され機能している。
- ④学校法人の組織・意思決定機関は「学校運営会議」「理事会」「評議委員会」を開催しそれぞれが効率よく機能している。
- ⑤運営会議→評議委員会・理事会と意思決定システムは確立している。
- ⑥教務課、就職課、広報課、財務など事務処理関係においてネットワークで結び通常の業務には全く支障がない。

○改善のための方策

- ⑥新たな情報管理システムを導入する。

●学校関係者による評価

- ・特に問題はない。

3 教育活動

○現状と課題

- ①本校の育成人材は、専門的な知識や技術だけでなく人間教育にも力を入れ、将来的にリーダーとなれる人材を養成している。
- ③④カリキュラムは教育目標に従い、体系的に編成され、適正に位置づけられている。
- ⑤授業アンケートを半期に実施しており、学生からの意見を反映させ、座学、実習を取り入れ変化のある授業展開を考えている。
反映させた変化のある授業展開を考えている。
- ⑨学校の授業だけでなく、イベントボランティアや地域交流など積極的に参加し、生涯学習を理解させている。

○改善のための方策

- ⑥非常勤講師の外部研修参加をサポート。

●学校関係者による評価

- ・地域交流は、学校の認知にもつながり、良い活動である。熱海市役所等、公的機関を巻き込んだ活動も検討してみてもどうか。

4 学修成果

○現状と課題

- ①100%とはいかなかったが、就職率95%と概ね目標を達成できた。
- ②前年度に比べ合格率が大幅に向上した資格もあったが、100%の合格率は達成できなかった。
- ③1年間には退学者が出なかったが、進級の春休みに2名の退学者が出ってしまった。

○改善のための方策

- ②資格取得率向上に向けた、夏期講習や補習授業を実施し、必要な場合は個別対応をする。
- ③個別面談を実施し、学習への取り組みや学校生活についての状況を把握する。
- ④就職先を訪問し、卒業生の活躍を確認している。在校生はイベントへの参加など地域社会と連携し評価を得ている。

●学校関係者による評価

- ・就職活動において、消極的な学生に対して個別に対応することは良いと思うが、教師任せになりすぎないようにすることが大切。自分の就職は自分で決める意識を持たせる。

5 学生生活支援

○現状と課題

- ①カリキュラムにビジネスマナーとコミュニケーション能力の授業を取り入れ、就職活動に活かしている。
- ②年2回の面接を実施、必要があれば都度個別に対応している。面接の結果を指導記録に記載し情報を共有、早期問題解決に努めている。
- ④学校医を置くとともに、全学生の健康診断を実施している。
- ⑤企業や地域と連携しイベントを開催。スタッフとして学生を派遣している。
- ⑧ホームページ内に卒業生の窓口を設け情報発信し、証明書の発行や転職相談に対応している。

○改善のための方策

- ②カウンセリングについて専門的な知識を学ぶ研修会への参加。

●学校関係者による評価

- ・イベントスタッフの経験が、就職活動にも役立つ。また、地域や企業と連携することによって、学校での授業内容や取得資格などを周知することができる。

6 教育環境

○現状と課題

- ①美容、看護、トレーニングそれぞれ実習室を設け、実習機材も学生数分確保している。
- ②インターンシップは年間行事に組み込み、すべての学生が実施した。海外研修については実施していない。

○改善のための方策

- ①実習室のエアコン、給湯器などの老朽化に伴い、取り換え工事实施。階段等の危険箇所修理。
- ②インターンシップ先の拡充。
- ③専門家による防災教育の実施。

●学校関係者による評価

- ・インターンシップ先は学生の希望職種で行えているのか。実施時期によっては、知識や技術が未熟なまま現場に出ることになると思うが、その辺はどうか。
- ・昨今、大雨による水害が増えている。非難する場合のペットの扱いや、避難生活が長引いた場合、避難所でのペットのケアを学生が担うことができるようなペット防災に関する取り組みも必要。

7 学生の受け入れ

○現状と問題点

- ①学校訪問や進路説明会に参加。カリキュラムや取得資格、学費など詳細に説明している。
- ②それぞれの実績を、体験入学や進路説明会で説明している。卒業生の活躍は、就職先へ取材に出かけ、ホームページで紹介している。
- ③AO入試、高等学校推薦、指定校推薦、一般入試（作文・面接）実施。
- ④学納金は、施設費、実習費、教材費に充てられ、妥当なものになっている。

○改善のための方策

- ①関連分野のイベントに参加し、学校のPRを行う。

●学校関係者による評価

- ・特に問題はなく、適切に行われている。

8 財務

○現状と問題点

- ①特に問題なく学校法人の財務基盤はほぼ適切に安定している。
- ②評議委員会・理事会において決議されたものであって、本学校法人としては適切なものになっている。
- ③2名の監事によって、毎年適切に行われている。
- ④学内掲示及びホームページにて「自己点検・自己評価」「学校関係者評価」「財務関係」報告書を公開している。

○改善のための方策

- ①前年度の実績を検証し、無駄のない予算立てをする。

●学校関係者による評価

- ・特に問題なく、適切に行われている。

9 法令等の遵守

○現状と問題点

- ①定員数・教員資格等の専修学校設置基準については、守るべき項目は遵守できている。
- ②個人情報に関するデータの校外持ち出し厳禁、PCセキュリティに関しても定期的に最新のものに更新している。

○改善のための方策

- ②新しいデータ管理システムの導入を検討している。

●学校関係者による評価

- ・特に問題は無く、各項目とも適切に行われている。

10 自己点検・自己評価・第三者評価

○現状と問題点

- ①評価表を作成し、学校関係者評価委員会後に意見をまとめ、改善を行っている。
- ②学内掲示及びホームページにて「自己点検・自己評価報告書」「学校関係者評価報告書」を公開している。
- ③第三者評価の実施は現状計画されていない。

○改善のための方策

- ③第三者評価実施に係る準備事項考察。

●学校関係者による評価

- ・第三者評価の必要性を考察し、学校法人全体で検討してみてもどうか。